



オーストラリア直送レポート

Vol.4 2019.8.14 緊張&わくわくの校外研修！

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課 井口
吉備中学校 島本
- パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 湯田・林

【ドリップストーン校グループ】

3日目の登校日を迎えました。今日も朝は涼しかったのですが、研修生たちは元気にホストファミリーと登校しており、体調を崩している研修生はいなかったので安心しました。今日は一日、校外に出て州議事堂の見学、市内観光、市長表敬訪問、軍事博物館の見学の予定でした。ドリップストーン校からは現地生徒とともにバスに乗り、30分程で州議事堂・市役所周辺に到着しました。州議事堂で館内見学ツアーに参加しました。入館するときは、空港のように持ち物検査や身体検査があり、研修生たちは緊張していましたが、その後は一緒に来ている現地の生徒達と話をしながら、館内を見学しました。ガイドさんがついて下さり、全ての英語を理解できていませんでしたが、途中、引率のエマ先生が翻訳機を使って、私や研修生たちに、ガイドさんが話している内容を教えてくれました。



その後、歩いて5分ほどの所にある市庁舎へ移動し、市長と面会をしました。ダーウィン市の市長は去年と同じくコンさんで、かつて吉備中学校の生徒のホームステイをしてくださっていた話や、ダーウィンでの生活はどうか？など、研修生たちに話してくれました。研修生たちは、少し緊張しながらも、しっかりと返答をしていました。また、市庁舎内に飾ってあるダーウィン市の旗や写真の説明もしてくれ、生徒たちは旗のデザインの由来など興味津々に聞いていました。その後、ウエルカムドリンクやフルーツ

をいただき、市庁舎を後にしました。今日の昼食は、ダーウィン市内のショッピング街で、自分の好きなものを自由に食べるというものでした。研修生たちを見ていると、現地のお寿司を食べている子や、ベトナム系のご飯を食べている子など様々でした。現地の生徒と一緒に食事をしているグループがほとんどで、現地の生徒と行動をするというのが当たり前になっている様子を見て、研修生たちは旅行ではなく、研修だという意識を持っているということを確認でき、安心することができました。昼食後はお土産を買う時間があり、日本の家族や友達にお土産を買っている光景が見られました。



その後、再びバスに乗り、軍事博物館に移動しました。この博物館では1942年に、日本軍などがダーウィンを攻撃したダーウィン空襲などの展示をしています。研修生たちは始めに、空襲についての映像を10分ほど鑑賞しました。研修生たちは、実際に起こった悲しい出来事に、誰一人喋ることなく、映像に集中していました。有田川町の代表として、こういった体験も、非常に貴重なことなので、日本に持ち帰ってほしいと感じました。その後は、館内の資料や、屋外の戦時中の戦車や、実寸大の爆弾など様々なものを見学することができました。研修生たちは、現地研修の中で、人とかかわり以外にも、様々なことを学べる環境にいます。今日行った州議事堂や市庁舎、軍事博物館などでも、少しでも研修生たちにとって、成長の糧となればこの研修の成果は非常に大きいものだと思います。明日はワイルドライフパークで、オーストラリアの動物をたくさん見ることができる予定なので、明日からも、研修生たちにとって成果のある現地研修になるよう、引率者として取り組みたいと思います。(井口)



今日は1日ホストファミリーの生徒と校外へとバスに乗って出かけました。午前中は議会と市役所を訪問しました。議会では難しい英語での説明に少し戸惑っているようでしたが、大きな噴水や吹き抜けの大きなホールに驚いているようでした。

市役所ではダーウィン市の市長と面会し、ダーウィン市の帽子をプレゼントしてもらいました。市役所の議事堂では実際に議員や市長の立派な席に座らせてもらい、みんな興奮している様子でした。

昼食は近くのショッピングセンターで食べました。自分の知っている英語を使い、大人ともしっかりとコミュニケーションがとれ、買い物をすることができていました。きっと大きな自信につながったと思います。

午後はダーウィン市にある軍事博物館を訪れました。日本軍による爆撃当時の再現VTRを鑑賞し、自分たちが今まで知らなかった歴史にもふれることができました。今日は1日中外での活動になり、暑さに疲れている生徒もいました。残り少なくなってきたこの研修を最後まで健康に過ごせるように体調管理に気をつけて、いい思い出をたくさん作って欲しいと思います。(島本)

[パーマストン校グループ]

オーストラリア研修 第7日目

日本を出発して7日目、パーマストン校登校3日目です。

今日は、1時間目 2時間目は、パーマストン校の生徒とは別にオーストラリア固有の動物についての特別授業を受けます。はじめはプロジェクトに映されるスライドを見ながら英語での説明を聞きます。Wildlife in your backyard (あなたの裏庭の野生生物) というタイトルで、カエルやトカゲ、ヤモリやクロコダイルなどオーストラリアに生息する生物について紹介されます。





30分ほどで話が終わり、先生が何かゴソゴソと袋の中から取り出します。出てきたのは、アゴヒゲトカゲ！すると女の子から「チョーかわいい」と口にする研修生、「絶対ダメー」という口にする研修生、「触りたい子」と先生が言うと真



っ先に一人の研修生が手を上げます。嬉しそうにトカゲを撫でています。すると「私も触りたい」とトカゲが研修生から研修生に手渡されていきます。「お腹のあたりがトゲトゲして痛い」と感想を言う研修生。カメラを構え写真を撮影する研修生。この後、ミミズクなどをすぐ近くで観ることができました。

っ先に一人の研修生が手を上げます。嬉しそうにトカゲを撫でています。すると「私も触りたい」とトカゲが研修生から研修生に手渡されていきます。「お腹のあたりがトゲトゲして痛い」と感想を言う研修生。カメラを構え写真を撮影する研修生。この後、ミミズクなどをすぐ近くで観ることができました。



3時間目から学校の外にでます。パーマストン校のスクールバスでまずはパーマストン市の市長さんを表敬訪問します。市庁舎に入り、案内されたのは幹部職員が会議を行う会議室。研修生は嬉しそうに椅子に腰かけています。そこに市長さんの登場です。市長さんの挨拶が始まると研修生は緊張しながら話を聞いています。次は研修生の団長がお礼の挨拶をします。そしてプレゼント交換。そのあと、市長さんが用意してくれていたサンドイッチやお菓子を頂きました。市長さんありがとうございました。



緊張の市長さん訪問を終え、次は、待ちに待ったクロコダイルパークです。スクールバスで移動します。この日の昼間はとても暑く、パーマストン校の先生が研修生に日陰に入るよう何度も言ってくれます。今日は日差しがかなり強いので、熱中症や日焼けを気にかけてくれていました。



ここ、クロコダイルパークではエサやり体験や、子供のクロコダイルを触ることができます。頭にのせる研修生や、噛みつくポーズをとる研修生。とても楽しそうです。次は、船に乗って公園内の池を周りま。パークの係員から船の金網から外に手や携帯電話などを出さないように、また船のバランスが崩れるので座っているところから移動しないように注意事項があります。やはりクロコダイルはかなり危険な動物のようです。

写真には写っていませんが、池の中や島の陸地などたくさんのクロコダイルがいます。大きいものでは2mを超えるような巨大なものもあり、研修生たちは目を凝らしてクロコダイルを探していました。

今日一日の校外研修も終わり、研修生たちはホストファミリーの家に帰ります。しかし、今日はこれで終わりではありません。夜にホストファミリーがパーマストンカレッジ（金曜日にここで研修します）に集まり、BBQです。私たちスタッフも学校に着くともう BBQ コンロでソーセージを焼いてくれています。日本では BBQ といえば焼き肉ですが、



こちらではソーセージや串に刺した肉を焼きます。みんながそろそろパーティーの開始です。それぞれ自分の好きな食べ物を取りに行き食べ、食後はダンスタイム。みんな楽しそうに踊り、研修生たちも踊ります。こういうのを見るとまた「外国なんだな」って感じる一日でした。(湯田)



(林) PS校登校3日目。今日で現地校での学習体験の折り返しの日です。昨日のPS校での授業で研修生と一緒に授業でカンナムスタイルのダンスを踊っていたので、筋肉痛になっていないかと心配しながらの起床となりました。さて、無事に筋肉痛もなく、約40分かけてPS校に到着しました。研修生たちの服装を見ていると昨日よりも、パーカーを羽織ったり、長ズボンの研修生の姿を多く見受けられました。研修生たちに話を聞いてみると、「朝晩が寒い」や「教室が寒い」との声が返ってきました。朝晩の寒さは、私自身も感じていましたが、教室の寒さは研修生の声を聞いて「言われてみれば」と思わず言っていました。日本と違い湿度が低いので、日本からきた私たちは過ごしやすいと感じますが、オーストラリアの人々は、高温多湿を知らないで日本では快適な気候でも、クーラーを使用していると思います。そのため、日本から来た研修生たちにとっては肌寒いとなるわけです。このパーカーを羽織ったり、長ズボンになった自発的な行動に、私は研修生の適応力と生きていく力の成長を感じました。

今日のPS校での午前中の授業は、ジェス先生によるオーストラリアの動物についてでした。ジェス先生がパワーポイントを使いながら、オーストラリア特有の動物(鳥、トカゲ、カエル、クロコダイル等)の特性や保護について説明してくださいました。説明はすべて英語だったので、研修生たちが集中して聴けるか心配していましたが、私語もせずしっかり先生の話聞いていたのを見て、礼節のある研修生が誇らしかったです。また、実際にトカゲに触れる機会をいただいた時に、全員が触りたいと手を挙げてくれたことも嬉しかったです。トカゲを触ったり、フクロウの写真を撮ったりと研修生たちはすっかり興奮した様子でした。オーストラリアの動物についての授業が終わると、スクールバスに乗り込みパーマトン市長さんを表敬訪問しに向かいました。市庁舎に到着しても、研修生たちは特段緊張している様子はありませんでした。パーマストーン市長さんは、大変お忙しい中日本からきた研修生たちに時間を割いていただいた上に、伝統衣装で研修生を温かく迎えて下さいました。市長さんから歓迎の言葉をいただいた後、市長さんから有田川町に記念品をいただきました。有田川町からもパーマストーン市への記念品を、PS班団長のマイキーから手渡しました。また、ウエルカムドリンクとウエルカムフード(サンドイッチとケーキ)を用意していただいていたので、研修生たちは思い思いの物を食べたり、飲んだりしていました。そ

の時間を利用して数人の研修生が、市長さんに熱心に質問をしている研修生の姿も見受けられ有意義な表敬訪問になったと思います。

パーマストーン市長への表敬訪問を終えた後、バスに乗ってクロコダイルズパークに移動しました。移動中の車内でも研修生たちは、学校でできた友達やホストファミリーの事について、話に花をさかせていました。クロコダイルズパークでランチ（サンドイッチやフルーツ）を終え、いよいよクロコダイルとのお対面の時がきました。パークのガイドさんに案内されクロコダイルのいるゲージにつくと「大きい」、「可愛い」などそれぞれの感想が聞こえてきました。クロコダイルへの餌やり体験では、6人の募集に対して10人の研修生が名乗りをあげて、熾烈なじゃんけん大会を開催し、餌やりの前に別の盛り上がりを見せていました。餌やりが始まると、恐る恐るゲージに餌のついた竿を下ろしてクロコダイルが餌に食いつくと、「わー」「すごい」などの歓声を上げていました。餌やり体験の後は、クロコダイルの赤ちゃんを触らせてもらう機会があり、研修生全員が初めての機会に大興奮でした。最後は研修生お待ちかねの船に乗ってのクルーズでした。船からつるされた餌にクロコダイルがジャンプするたびに、歓声を上げたり必死にカメラに収めようとしていました。午後からの市長訪問や校外学習の疲れも見せずに学校に帰るバスの中でも研修生は元気いっぱいでした。

今日は、パーマストーン校の先生方主催で研修生とそのホストファミリーが集まったのBBQ夕食会がありました。日本のBBQとは違って、調理した肉などを室内で食べる方式です。ホストファミリーの方に日本の研修生の印象を聞くと「いい子で礼儀正しい」「元気な子」などの声をいただき引率者としてうれしくなりました。また、夕食後には、研修生やPS校の先生方、ホストファミリーでダンスをする時間があり言葉の垣根を越えてその場にいた全員が楽しい時間を過ごせました。現地研修が始まったばかりの頃は、中々参加できない子もいましたが、今日のダンスは研修生全員が参加し交流できました。学校に行くのは後2日ですが、その貴重な2日間をさらに有意義なものに出来るよう体調面も含めてサポートしていきたいです。